

市報

No. 1404

おおいた

2005 1.1

合併記念号

大分・佐賀関・野津原





明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成17年1月1日、大分市・佐賀関町・野津原町が合併し、

新しい大分市がスタートしました。

大分市長
釣宮 磐

新・大分市は、これまで両町の皆様が育んでこられた

歴史や伝統文化、豊かな自然を貴重な財産として大切に受け継ぎ、

新たな未来へ向けた一歩を踏み出してまいります。

地方を取り巻く行財政環境は厳しい状況が予想されますが、

県都として、九州の中核都市として責任を担いながら、皆様と一緒に感を持って、

魅力ある大分市の創造に全力を傾注してまいりますので、

一層のご支援とご協力を願い申し上げます。

この一年が皆様にとってよい年でありますようお祈り申し上げまして、

新年のごあいさつといたします。



25

暮らしの情報市場

22

決定! 2004年
大分市10大ニュース

21

合併により一部変わる
大分市の組織機構

9

合併特集
大分市・佐賀関町・野津原町が合併

8

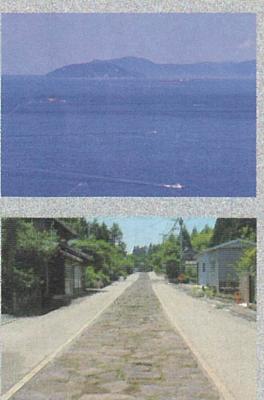
新春恒例
大分市消防出初式

4

2005新春座談会
新春時代のまちづくり
(大分トリニータとともに)
祝・新成人
大分市成人記念集会

市報おおいた「合併記念号」

1月1日、
手をたずさえて新出発



おおいたの美術



はくばい めじろ
白梅眼白
1940年頃
福田 平八郎

枝から枝へと活発に動き回りながら花の蜜を吸う眼白。待ち望んでいた春の訪れを、喜んでいるかのようです。

枝や花の大きさからすると、眼白はやや大きめに描かれていますが、

これは枝先に「不安定さ」を生むことで、眼白の喜々とした所作につれて揺らぐ枝の様子を強調し、

春の訪れを印象化したものと思われます。また、右から左へのびる梅枝の下に広がる空間は、

眼白と枝のこうした動きを受けとめて、画面に静寂感を生んでいます。



司会
佐脇 佳子さん

大分の市民の皆さんに「合併してよかつた」といわれるようになります。まちづくりを進めていきます。

のように関わっていきたいですか。
溝畑 大分市のために、大いに役に立ちたいですね。例えば全国メディアに対して大分をPRすることができますし、外国人選手、海外試合など外国人との接点も多いチームですから、国際交流の橋渡しにも貢献できると思います。そして、子どもたちが自分の住んでいるところに誇りと夢を持つてもらえるようにトリニータが頑張らないといけないと思います。

きたいと思います。
議長 1月1日に合併し、新
大分市がスタートしました。議会のもつて
る本来の役割を果たしながら、市民福祉の
向上をめざして、努力してい



市長　1月1日に、これまでの大分市、佐賀関町、野津原町が合併し、新しい大分市が誕生しました。新・大分市は佐賀関が長年全国に発信してきた自然を貴重な財産として受け継ぐことになりました。これらを糧にして、さらに大分を全国的に注目されるようなまちにしていきたいです。

張れば世界を相手に勝負できる」という夢を与えるようなりたいと思っています。

新年の抱負

佐脇 最後に皆様に今年の抱負をお伺いします。

溝畑 まずは、5年以内に日本一のタイトルがとれるよう頑張り、市民の皆さんから大分の誇りに思ってもらえるような強いチームづくりをしていきたいと

新年の抱負

て、笑顔、夢、希望という明るい方向性をもつて頑張って行きたいと思います。

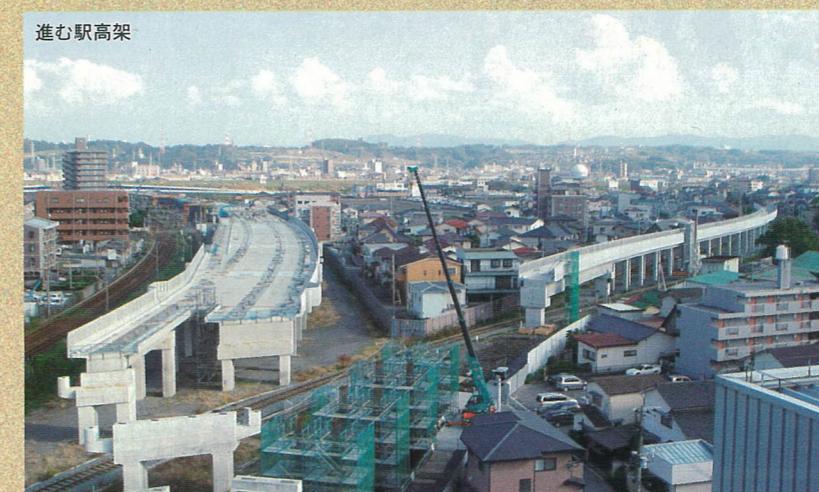
市長 市民の皆さんに、大分を愛し、ふるさと大分に住むことに自信と誇りが持てるよう、大分を本当に光り輝くものにしていきたいですね。まちづくりをやつていく上で、これからこの時代を市民の皆さんと一緒に感を持つて協働しながら頑張っていきたいなと思います。

佐脇 ありがとうございました。

議長 大分には人としての魅力とか個性も本当にあるんですね。45年間大分に住んでいて、大分の人は本当に協調性があると思います。夏の大分七夕まつりでは、ボランティアをはじめとするたくさん的人が集まり、協力しあって“まつり”を盛り上げています。そのパワーにはすごいものを感じますね。こういうパワーが普段からみられれば大分もありますます魅力的になると思います。

ちづくりをめざしています。
市政オープン・宣言をし、情報
をオープンにすることで、市民の
皆さんと一体感の持てる市
政運営に取り組んでいます。
その一環として、市民の皆さん
との意見交換をする”おでかけ
市長室”を開催し、「大分の
まちを一緒になって作りました
う」と話してきました。

市長 そうですね。そのた
にもまちが活気づい
ていないとけないん
ですね。今、大分駅周
辺総合整備事業を
進めています。土地
区画整理や駅の高架
化など100年に一
度の大事業です。特
に、駅の南側にシン
ボルロードを配して、
駅の北側の市街地
中心部と一体感を
持たせて、活性化に
つなげていきたいと
思います。



大分市長
釘宮 磐



しという言葉がありますが、自分の住むまちに誇りを持つべきだと私は思うんですね。海があつて温泉があつて、ちょっと足を伸ばせば高原があつて、これらをうまく組み合わせていけば、大分の魅力の幅はますます広がる。そんなまちになれる要素があると思うんですね。

市長 私は、市民総参加のま

ですね。

議長 今、市議会は、開かれ
た議会“を目指しています。そ
のためにも、市民の皆さんから
寄せられる陳情や請願などを
審議する委員会の傍聴をでき
るようになります。また昨年
12月には本会議のインターネット
ツト中継も始めました。こうい
つた取り組みも市民の皆さん
との一体感の醸成に役立つて

議長 今、市議会は“開かれ
た議会”を目指していきます。そ
のためにも、市民の皆さんから
の意見、質問、ご要望など、

私たちから変わる、



三人三様、3つの個性が響き合つて
新しい大きな「ひとつ」が生まれるとき。
みんなの元気と、心意気と、たくさん思いが
明日への力を創ります。
私たちは、今日から「ひとつ」、
まっさらな未来へ向けて、発進です。

平成17年1月1日、
大分市・佐賀関町・野津原町3市町合併
新・大分市誕生！

合併記念

大分市消防出初式

今年の消防出初式は、総勢約2,400人が参加し、合併により新たに大分市消防団の方面隊となつた第7方面隊(佐賀関)、第8方面隊(野津原)に方面隊旗並びに分団旗の授与を行います。

また訓練では、ポンプ車による一斉放水や町火消しの心意気を今に伝える「古典はしご操法」などを披露します。

ぜひ、皆さんおそろいでお出掛けください。

日 時 1月9日(日)／午前8時30分～11時50分
(雨天の場合は、消防局講堂で
午前9時30分から式典のみ行います。)

場 所 平和市民公園多目的広場

お問い合わせ 消防局総務課 ☎ 532-2188



古典はしご操法

内 容 入場行進、人員・服装点検、消防職員による訓練、消防団一斉放水など

その他の 車で来場の人は、公園東側の駐車場をご利用ください。

第57回 合併記念大分市成人記念集会

今年の成人記念集会は、大分市・佐賀関町・野津原町の合併を祝うとともに、新成人に祝福と激励を贈り、地域社会を担う成人者としての自覚を促すために開催されます。



日 時 1月9日(日)／午前11時開場

場 所 大分文化会館 大分城址公園

対 象 昭和59年4月2日から昭和60年4月1日までに出生した大分市民
市内在住の人(住民票がなくても参加できます)
市外在住の人であっても、市出身者であれば参加できます。

その他の

- ◎個人あての案内状は発送しません。
- ◎普段着で気軽にご参加ください。
- ◎臨時駐車場として荷揚町小学校と中島小学校の運動場を確保しています(雨天時は使用できません)が、台数に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。なお、大分城址公園は使用できません。
- ◎会場には手話通訳者および要約筆記者を配置しています。
- ◎車いすを利用する人や介助が必要な人には、係員を配置しています。

内 容 午前11時10分～ ウエルカムコンサート

正 午 ~ オープニングセレモニー

◎市長・市議会議長からのメッセージ

ふれあいトーク

◎ふるさと“おおいた”と一緒に考えよう
◎新成人への応援メッセージ紹介

午 後 1 時 ~ 祝成人ライブ

午後2時10分～ フィナーレ

◎参加者のメッセージ紹介

出会いの広場

- ◎「おおいたの味」コーナー
- ◎「大分トリニータ」のコーナー
- ◎「おおいたの達人」コーナー
- ◎「メッセージ」コーナー
- ◎「はたちの献血キャンペーン」コーナー
- 「着付け直し」コーナー
- 「エイズ予防キャンペーン」コーナー
- ◎映画上映、パネル展示、即日検査実施など

お問い合わせ 生涯学習課 ☎ 534-6111(内線2048)

3市町力を合わせて 合併の経緯

時代の潮流と合併の必要性

大分市と佐賀関町、野津原町は、連携して一体的な発展を図るため、昭和47年、大分郡の他の3町とともに大分地域広域市町村圏協議会を設立。道路網の整備や諸施設の建設を総合的に推進してきました。

近年の情報通信網や道路網の整備などによる生活圏の拡大で、通勤・通学をはじめ、医療圏、商圏など住民の日常生活圏は一体化。1市2町の結びつきはさらに強まり、経済活動や教育文化、福祉医療、環境問題など広い分野において、一体的・総合的なまちづくりを進めることが必要となっています。

また、多様化する行政ニーズに対応し、専門的かつ高度な行政サービスを提供するには、行財政基盤の整備・強化が不可欠。さらに地方分権の進展に伴い、これから自治体には「自らの判断で決定し、自らが責任を持つ」ことが求められています。しかし、長びく景気の低迷や国の三位一体改革の影響により地方の財政は極めて厳しく、単独の自治体や従来の広域圏という緩やかな連合体では、一定水準の行政サービスの提供は困難になります。

このような背景から、合併によって行政サービスの維持向上をめざし、各市町の自然・歴史・文化・産業などを活かして魅力あるまちづくりを進める道を選択しました。

新市発足までの流れ

平成14年 4月	佐賀関町から合併協議の申し入れ
11月	野津原町から合併協議の申し入れ
平成15年 3月	大分市・佐賀関町合併問題協議会と大分市・野津原町合併問題協議会を別々に設置
平成16年 2~4月	合併に関する住民説明会を開催
4月	大分市・佐賀関町・野津原町合併協議会を設置
7月	合併協定書調印
8月	合併議案を各市町の臨時議会に提案し、可決
9月	3市町の長が大分県知事へ合併申請
10月	合併議案を県議会が可決
平成17年1月1日	県知事が合併を決定。県は総務大臣に届出 総務大臣告示。合併が正式に決定 合併による新市発足



1月1日、手をたずさえて新出発!

新・大分市の未来を描く 合併後のすがた



豊かな緑の山々、風光明めいびな別府湾や豊予海峡に囲まれ、豊富な水量を誇る大分川、大野川が貫流する新・大分市。新市はこれまで両町が育んできた歴史や伝統文化・豊かな自然を貴重な財産として引き継ぎ、県都として、九州の中核都市として、政治・経済・文化の中心的役割を担い、これまで以上に自立性の高い自治体をめざします。また「心かよい緑あふれる躍動都市」を都市像に掲げ、住み心地のよさが市民の誇りとなるような、快適、安全で魅力あふれる都市をつくっていきます。

●新・大分市の概要
新市名／大分市
人口／46万3,970人
(男22万3,155人、女24万815人)
世帯数／18万5,978世帯
面積／501.1km²

H16/11/30現在

大分市

東西25.8km、南北21.0km、面積360.97km²の商工業都市。瀬戸内海国立公園の高崎山をはじめ、靈山、九六位山など緑の山々が周辺部を取り巻き、大分川、大野川の二大河川が市内の中央を南北に貫流して、下流部に平野を形成しながら別府湾に注いでいます。市街地は東西に帯状に連なり、郊外の丘陵地には大規模団地が多数開発されています。海岸部には鉄と石油の大工場地帯が形成され、内陸部のIC産業などとともに産業経済発展のけん引役となっています。大分市は東九州の要衝として重要な役割を担っています。



佐賀関町

半島部は豊予海峡に面し、東西11km、南北9.5km、面積49.39km²。リアス式海岸による天然の良港を生かした水産業や銅の精錬を中心に関発してきた町で、伝統の一本釣り漁法による「関あじ」「関さば」が全国ブランドに成長しています。中央部の南寄りには樅ノ木山をはじめとする山々が東西に連なって分水嶺をなし、総面積の61.8%が山林原野で占められています。海岸線に沿つて基幹道路が走り、国道197号の海上ルートとして「国道九四フェリー」が愛媛県三崎町まで就航。大分県の東玄関口となっています。



野津原町

東西12.5km、南北7.5km、面積90.74km²、自然に恵まれた農林業の町。大分市と隣接する地理的特性などから、近年、IC関連企業や乳製品製造企業、看護科学大学などが立地しています。森林面積が全体の77.7%を占め、壮大な自然を有する中山間地帯で、大野町との境には標高859mの鎧ヶ岳がそびえ、町の中心軸に沿つて七瀬川が流れています。居住地域および農地の標高は50~550mと差が大きく、起伏に富んでおり、清らかな水と緑にあふれた自然環境、自然景観が大きな魅力です。



それぞの歴史 旧3市町の沿革

大分市

明治22年4月1日、市町村制施行により、大分町、西大分町、鶴崎町の3町と28村ができる。明治40年、大分町、西大分町、荏隈村、豊府村が合併して大分町に、明治44年「大分市」になる。その後、昭和14年に3村が、昭和18年に1村が大分市に加わる。鶴崎町は昭和13、18、19年に各1村と、昭和29年に4村と合併して「鶴崎市」に。その他、諸々の合併を経て昭和29年に「大南町」、昭和32年に植田村、東植田村、賀来村が合併してできた大分村が「大分町」となり、明治40年に「大在村」、昭和16年に「坂ノ市町」ができる。大分市、鶴崎市、大南町、大分町、大在村および坂ノ市町の6市町村が合併して、昭和38年3月10日に「大分市」が誕生。

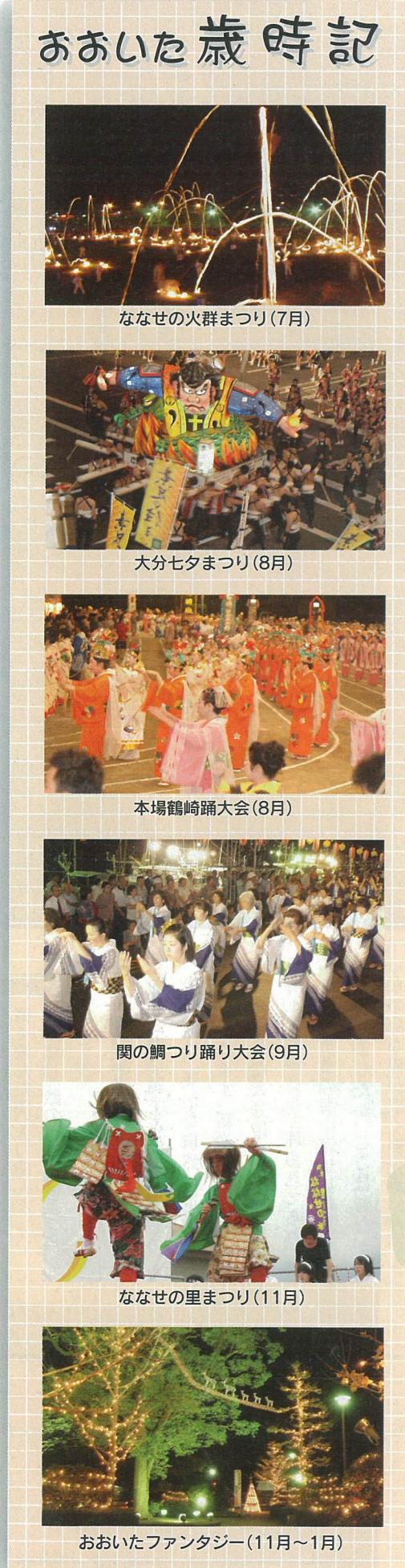
佐賀関町

明治22年4月1日、市町村制施行により、佐賀関町、神馬木村、大志生木村、一尺屋村の1町3村ができる。明治40年7月1日、神馬木村と大志生木村が合併して「神崎村」に。昭和30年1月1日、佐賀関町と神崎村、一尺屋村が合併して、「佐賀関町」が誕生。

野津原町

明治22年4月1日、市町村制施行により、野津原村、諏訪村、今市村の3村ができる。明治40年4月1日、野津原村と諏訪村が合併して、「野津原村」に。昭和25年、今市村が大野郡から大分郡へ。昭和30年3月31日、野津原村と今市村が合併して、「野津原村」に。昭和34年2月1日、「野津原町」が誕生。

海岸線が広がり、緑が深くなる新・大分市



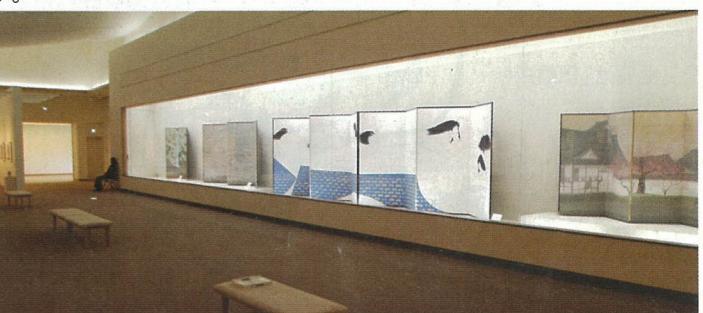
別府湾を一望できる海浜公園。園内には、人工島「田ノ浦アイル」のほかスポーツに利用できる太陽光発電システム棟「T-WAVE」やレストラン「エシエル・ドゥ・アンジェ」も併設しています。



豊予海峡の中央部に位置し、ウミネコの営巣地として知られています。パンガローなどの施設もあり、夏にはキャンプを楽しむことができます。



戸次本町の中心に位置する酒造蔵は木造2階建て。日本の近代産業の一つである酒造の工程がよくわかる建築群として、平成11年に市指定有形文化財に指定されています。



上野の森の豊かな自然に囲まれたおしゃれな美術館。展示室のほか、所蔵作品の映像を閲覧できるコーナーやレストランも併設しています。

佐賀関

「豊かな海のロマンが息づく」

「せとうち風景30選」の
ピューポイント



自然のままの美しいリアス式海岸に恵まれた佐賀関。海岸線をめぐれば、潮流渦巻く豊予海峡を望む白亜の灯台、黒白の石を敷き詰めた浜、ウミネコが乱舞する孤島など、野趣溢れるピュースポットの宝庫です。関あじ・関さばをはじめ、関もの」と呼ばれる海の幸も数々。ここには“極上の海”があります。



る絶景。黒ヶ浜とは対称的に白砂だけできた「白ヶ浜」もマリンブルーの海に映える美しい海岸です。



関崎半島突端から眺める豊予海峡は「せとうち風景30選」に選ばれたピュースポット。沖合は「速吸の瀬戸」と呼ばれる潮流の速い海で、この瀬戸の道しるべとして明治34年に灯された県内最古の「関崎灯台」が白亜の姿を際立たせています。限りない紺碧の海、遠くには四国の山並み、関あじ・関さばの漁場でもある速吸の瀬戸に並ぶ一本釣り漁船。雄大な海と空の大パノラマが感動を説いています。「関崎海星館」ではこの眺めが一望できるほか、備え付けの天体望遠鏡で、迫力ある月や惑星、果てしなく広がる宇宙の神秘を心行くまで楽しむことができます。

関崎から約3.5キロメートル沖合に浮かぶ瀬戸内海国立公園の「高島」は、この眺めが一望できるほか、備え付けの天体望遠鏡で、迫力ある月や惑星、果てしなく広がる宇宙の神秘を心行くまで楽しむことができます。

産卵に訪れ、乱舞する姿を船から眺めるのは圧巻です。手つかずの自然や多彩な海の景観、海のロマン」。新・大分市の魅力が大きく広がりました。

宝の海を残し伝えたい。

新市民いんたびゅー



昭和39年生まれ
県漁協青年部佐賀関支部支部長。高校卒業後、福岡でのサラリーマン生活を経て帰郷。親戚の船で操縦の基本を習い「洋光丸」船主に。漁師歴15年。佐賀関在住。

漁師
姫野 英昭さん

昔から佐賀関で獲れる魚は一般的に「関もの」と呼ばれおいしいと評判が高く、私が漁師になつた15年ほど前から関あじは高値で取り引きされていましたが、関さばのおいしさはまだ知る人ぞ知るという感じでした。その後、全国各地で大規模なキヤンペーンを繰り広げ、全国各地で大規模なキヤンペーンを繰り広げるなど関係者の努力とその時のグルメブームに乗り、「関あじ・関さば」という全国ブランドに成長しました。

おいしさの秘密はいろいろ。「関あじ・関さば」の泳いでいる「速吸の瀬戸」は魚の餌にな

る「プランクトン」が豊富で、潮の流れも速いため、魚がよく太っていてしかも身が締まっていること。疑似餌による一本釣りの伝統が大切に守られていることなどです。さらに、「面貢い」という計量せずにイケスで泳いでいる状態を見て値段を決める独特な買い付けで新鮮さを保っています。

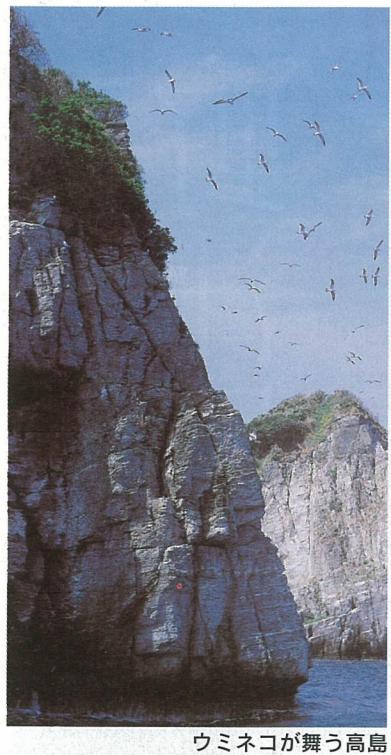
このように「関あじ・関さば」というスター魚がいることで、比較的、他の地域より恵まれていますが、現実には、環境の様々な変化などが原因で、水揚げが減っています。そこで休部

していた青年部を昨春10人で復活させ「自分

たちの宝の海をどうしたら次の世代に残していくか」と機会あるごとに話し合っています。

合併で「関あじ・関さば」も大分市のブランドになります。市民の皆さんにはぜひ誇りにして欲しいし、我々漁師もいい刺激を受けながら「関もの」の良さのさらなるPRに励み、資源を大切にする努力を怠らず頑張ります。大分市街地から車でわずか40分、他では味わえない高島や黒ヶ浜などの自然がいっぱいあります。

どうぞ皆さん気軽に遊びに来て下さい。



ウミネコが舞う高島

関崎半島突端から眺める豊予海峡は「せとうち風景30選」に選ばれたピュースポット。沖合は「速吸の瀬戸」と呼ばれる潮流の速い海で、この瀬戸の道しるべとして明治34年に灯された県内最古の「関崎灯台」が白亜の姿を際立たせています。限りない紺碧の海、遠くには四国の山並み、関あじ・関さばの漁場でもある速吸の瀬戸に並ぶ一本釣り漁船。

は、深い緑におおわれたウミネコの島。県指定天然記念物のウミネコ約5千羽が毎年4月ごろ産卵に訪れ、乱舞する姿を船から眺めるのは圧巻です。手つかずの自然や多彩な海の景観、海のロマン」。新・大分市の魅力が大きく広がりました。

はこの眺めが一望できるほか、備え付けの天体望遠鏡で、迫力ある月や惑星、果てしなく広がる宇宙の神秘を心行くまで楽しむことができます。

関崎から約3.5キロメートル沖合に浮かぶ瀬戸内海国立公園の「高島」は、この眺めが一望できるほか、備え付けの天体望遠鏡で、迫力ある月や惑星、果てしなく広がる宇宙の神秘を心行くまで楽しむことができます。

はこの眺めが一望できるほか、備え付けの天体望遠鏡で、迫力ある月や惑星、果てしなく広がる宇宙の神秘を心行くまで楽しむことができます。



水辺の観光を見直し、 ルートの工夫が必要！

合併により豊かになる水産資源を
これからどう生かしていくか

恵みあふれる海と清流を誇る地を加えた新・大分市。水族館「うみたまご」は新しいふるさとの顔といえます。前身のマリーンパレスのユニークさに加え、見て、触れて、心安らぐ水族館に生まれ変わりました。海辺の「たまご」がくれる栄養は、まちづくりの力になりそうです。

別府湾を見渡す屋外水槽を、悠々と動き回る茶色い影。「ほんた！」川原館長が呼ぶと、大きなセイウチが丸い目をのぞかせました。

「私はセイウチが大好きなんです」と川原館長。「イルカみたいに格好よくはないけど、親しみやなくて独特的の存在感がある。それこそが、この水族館を目指すイメージなのです」。

1964年に全国でも珍しい民営の生態水族館マリーンパレスが開館。世界で初めて大回遊水槽や魚の曲芸を取り入れました。昨年、「うみたまご」として新築オープン。生き物と仲良くなるための仕掛けがたくさんあります。中央に伝統の回遊水

槽。9つの窓から違った角度で眺める仕掛けが、海の表情の豊かさを伝える。真正面からは海の彩りと雄大さを。水底からは魚の営みの神秘を。真上からの眺めは、子どもたちに大人気。魚と一緒に泳いでいるような気

同士が、笑いで一つになります。

里の川の生物を展示したコーナーでは、「お父さんが子どものころ、田んぼの横の川にたくさんいたんだよ」と親子の会話が

あります。

「銀鱗を輝かせたアジやサバ、サメの一部は佐賀関出身なんですよ」と川原館長。「佐賀関、野津原との合併で、大分市の水産資源はより豊かになりました。

水辺の観光地を見直すとともに、気軽に訪れるこことできる観光ルートの工夫が必要ではないでしょうか。うみたまごの「たまご」は、成長、発展の源。ふるさとの水産資源を知り、誇りをもつきっかけになれば幸いです」。



川原 大さん hiroshi kawahara<(株)マリーンパレス 常務取締役館長>

昭和23年大阪市生まれ。昭和46年京都大理学部卒。昭和48年マリーンパレスに研究員として入社。平成4年、取締役館長就任。
平成10年、常務取締役館長就任。



戸次本町の町並み

一緒に考える事ができる まちづくりが理想



新しいまちづくりの基本は何か、
忘れてはならない「何か」を探る

「自然を離れて人は生きていけない」「まちの歴史を忘れるのは、故郷をなくすのと同じ」—澄んだ空やきれいな川、先人の暮らしの知恵が分かるなじみやすい家と町並み。まちとは、有形無形のまちの宝を活かして、それを柱として建てる建築のようなものかもしません。

「大分市の上野の森がなぜあるのか、知っていますか?」村松さんは問いかれます。「あの森はそ

れで、木々に囲まれているでしょう。人はその自然の中で生かしていました。だからものだという、先人たちの思いの表れなのです」。

80歳を過ぎた今も、学校や市民の集まりに呼ばれ、歴史と自然を大切にしたまちづくりを語っています。「文化財や歴史的建築物に向き合う時、大切なのは心です。当時の人ほど思って、便だからといって、森を切り崩し、歴史的な建物を壊してしまうような過ちを犯してしまう。その

もそも鎮守の森。ムラを守る神仏が、降りてくる場所だったのです。あの近辺の神社仏閣や墓地は、木々に囲まれているでしょう。人はその自然の中で生かしていました。だからものだという、先人たちの思いの表れなのです」。



村松 幸彦さん sachihiko muramatsu <町並みとまちづくりを考える県民の会代表>

大正11年別府市生まれ。昭和18年旧制神戸高工建築科卒。昭和22年大分工教諭。昭和56年退職。日本建築学会、県木造建築研究会所属。

土地に暮らした人々の記憶を消し去ったまちは、もはや故郷とは呼べません」。

大分市には、先人の心がこもっています。府内城を中心に基盤の目に割られた四十余町の城下町。臼杵藩の在町として栄えた戸次本町。野津原には山里の暮らしを今に伝える後藤家住宅や丸山八幡。佐賀関周辺の神社仏閣には、海の民の歴史と願いが今も脈々と受け継がれています。

「大分県は小藩分立し、それぞれ個性豊かな地域文化を培つきました。合併した後はなおさら、自分の住む地区に受け継がれた歴史、文化を知り、後の世代に伝える努力が必要です。同時に今まで隣の町の財産として見ていたものを、今度は同じ市民共通の宝として大切にすることです。その思いが根付けば、大分市は多様な文化をもつグローバル、つまりグローバルかつローカルな県都となるでしょう」。

住みよいまちづくりに最も大切なのは、「そこに住む人の声」だと村松さん。「住民が自分たちのまちのデザインについて自由に意見が言えて、皆と一緒にできることができるまちづくりが理想です」。

になります。

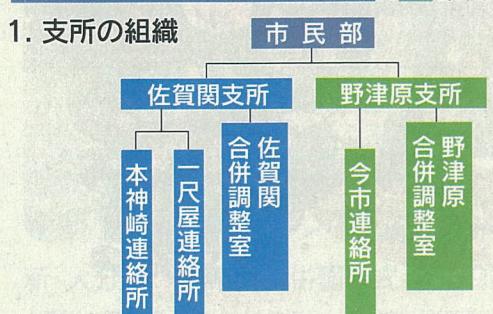
「自然観察や環境教育だけが水族館の目的じゃない。ただ生き物と一緒にいて、くつろぐであつてもいいと思うんです」。

大きな橢円形の窓から水槽を見る「うみたまホール」。館内放送のクラシックに合わせて魚たちが舞う、生きた絵画のよう。

お年寄りが丸い「うみたまホー

合併により市の組織機構が一部変わりました

合併に伴う組織機構改革



合併に伴う組織機構改革の基本的な考え方

- ① 住民サービスの低下や事務の混乱を招かないこと
 - ② できるだけ早期に新市としての一体感の醸成が図れること
 - ③ 財政基盤の強化に向け簡素で効率的な組織とすること

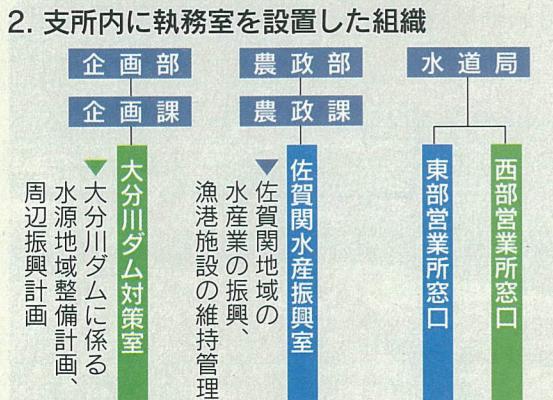
以上のこととを基本に組織機構の整備を行いました。

支所、連絡所、そのほかの組織について

- (1) 佐賀関町および野津原町の役場は、それぞれ **佐賀関支所**、**野津原支所** として、戸籍や住民票、印鑑登録の事務や民生、衛生に係る各種届出の受付、税証明などに関する事務を行います。また、両支所には、合併時の事務の混乱や住民サービスの低下を招かないよう、当面、合併事務の調整を行う **合併調整室** を設置し、主に各種申請、届出などの取次ぎや本庁各課などとの連絡調整、相談業務などを行います。

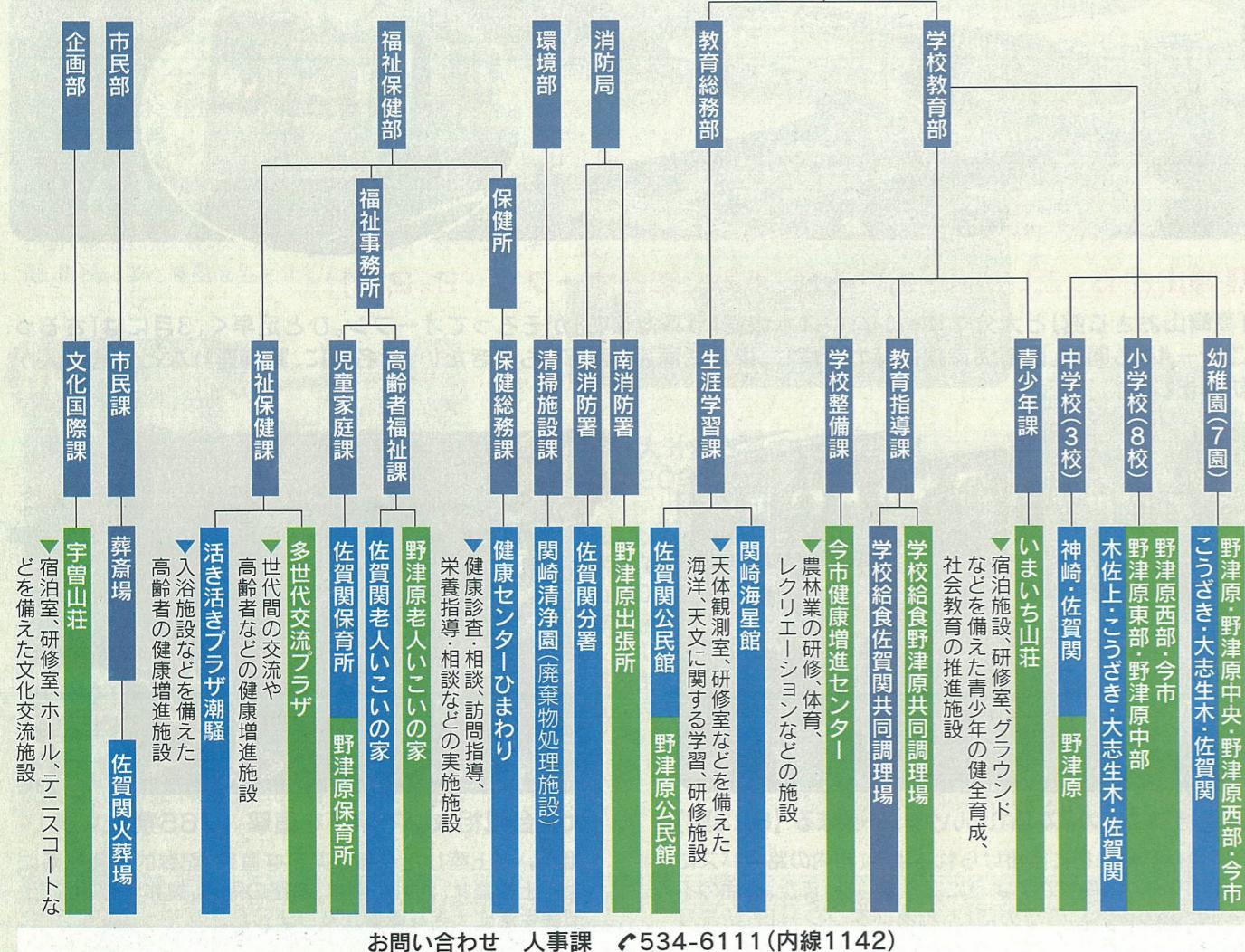
(2) 神崎支所、一尺屋支所および今市支所もそれぞれ **本神崎連絡所**、**一尺屋連絡所**、**今市連絡所** として、基本的に合併前と同様のサービスを行います。

(3) 市町で同様の事務を行っている組織については、一元化をするとともに、各支所管地域の特性を活かした施策の展開が図れるよう佐賀関支所内に **佐賀関水産振興室**、野津原支所内に **大分川ダム対策室** の執務室をそれぞれ設置しました。



3. 佐賀関支所および野津原支所管内に設置した

そのほかの組織および施設

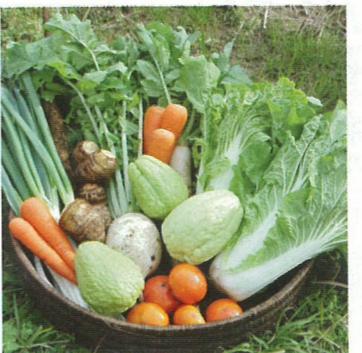


他県から来た客に郷土料理をごしようと。大分の里の幸は、人々を农作物を育てた土地、手がけた人々なら、新大分市の市民は皆元気でぴんと伸びたネギ、濃い緑のホウレンソウ、葉につやのある白菜。国道442号沿いの「なせ四季の里」に元気な野菜が並びます。中央のテーブルでは、温かいだんご汁を食べる人々。厨房では地元の女性たちが、一人暮らしのお年寄りに届ける弁当作りにいそしんでいます。

「私はね、野菜作りがしんけん好き」。店の代表、工藤シマ子さんが顔をほころばせます。店で売る野菜は、野津原の農家が丹精込めて育てたもの。工藤さんも野菜を作っている一人です。

牛ふんや草を発酵させた堆肥を土にすき込み、なるべく農薬は使わず育てます。「丹念に土作

A photograph of a woven basket overflowing with a variety of fresh vegetables. The basket contains several orange carrots, some white radishes, and large green leafy vegetables like lettuce or cabbage. The vegetables are arranged in a dense, overlapping pile, showcasing their natural colors and textures.



工藤 シマ子さん shimako kudo <「ななせ四季の里」代表>

野津原生まれ。農業をしながら3人の子どもを育てる。

販売所を開いて野菜を持ち寄つてしました。平成10年に地元活性化のために、「ななせ四季の里」をオープンさせ、平均年齢65歳の女性9人で切り盛りしています。楽しみもあれば苦労もある仕事です。「野菜を育て、収穫し、販売するまでの手間を時給に換算すると、いくらにもなりません。お客様に喜んでいただけるのが何よりの報酬です」。

日本の食糧自給率の低下、若者の農業離れは深刻です。

「田舎に土地がありながら耕さず、パックに入った野菜しか買わないのは残念だなと思います。街で働いていても、休日には田舎で野菜を作るような生活を、若い人にしてほしい。野菜は植えてから、一週間おきにでも面倒見てやれば、ちゃんと育つんです。育て方が分からなければ、田舎の人には聞けばいい。私たちは喜んで教えますよ。」





新・大分市へ3市町合併調印式【539票】

17年1月1日の合併に向け、大分市・佐賀関町・野津原町の合併調印式が行われました。魅力あふれるまちづくりへの期待が膨らみます。



アテネオリンピック・パラリンピックで大分市出身・在住選手大活躍【470票】

アテネオリンピックで、足立(カヌー)・安藤(野球)・高松(サッカー)・森(競泳)選手が大活躍。パラリンピックでは、安岡チョーク選手が陸上で金メダルを獲得。小野(卓球)・荒(競泳)・須藤(セーリング)選手も大健闘。市民に夢と感動を与えました。

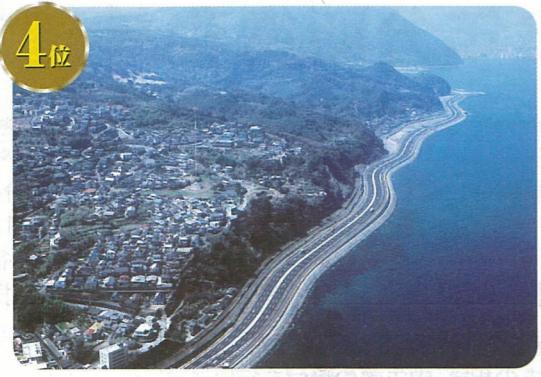


小学校1年生が30人学級に【444票】

学習習慣や生活習慣を早くから身に付けるために、小学校1年生で30人学級編成が始まりました。

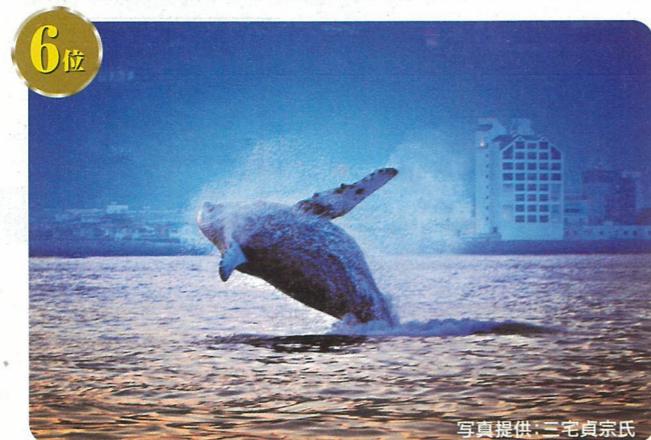


ご応募いただいた皆さんの中から、抽せんにより20の方に記念品をお送りしました。
当せん者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



別大国道、田ノ浦～西大分間の6車線拡幅開通【578票】

田ノ浦～西大分間に、美しい景観と調和した安全で快適な大動脈が開通しました。



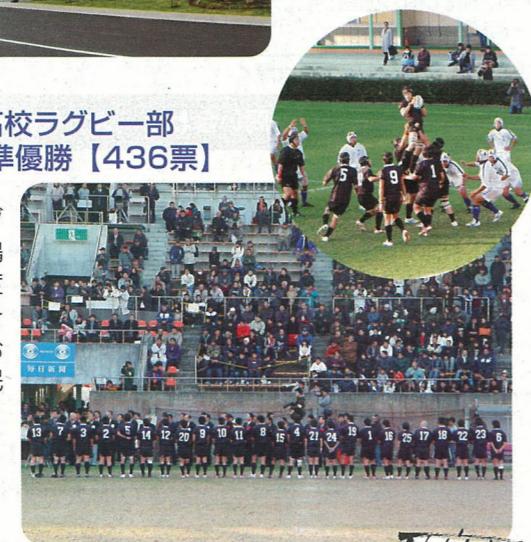
冬の田ノ浦ビーチ大盛況 かんちゃん出現【473票】

別府湾に現れたザトウクジラ「かんちゃん」の姿を一目見ようと、冬の田ノ浦ビーチに1日3,000人もの人が集まり、大にぎわいとなりました。



大分キヤノン大分事業所1期工事完成【456票】

30年ぶりの大型企業進出。大分キヤノン大分事業所の1期工事が完成し、地域経済の活性化が期待されています。



大分舞鶴高校ラグビー部20年ぶり準優勝【436票】

第83回全国高校ラグビ大会で、大分舞鶴高校が20年ぶり3度目の準優勝に輝く。そのたくましく、ひたむきな高校生の姿は市民に元気を与えました。

＼決定！／2004年大分市

10大ニュース

皆さんに選んでいただいた、2004年の「大分市10大ニュース」が決定しました。全部で1,175通のご応募をいただき、ありがとうございました。(広聴広報課)



今年は
どんなニュースが
待っているのかな？

1位



高崎山さるっこレール・おさる館、うみたまごオープン【912票】

「高崎山おさる館」と大分マリーンパレス水族館「うみたまご」がそろってオープン。ひと足早く、3月には「さるっこレール」も開通。西部海岸線の魅力が増し、楽しさ満点「何度も行きたい」新名所に、家族連れなど大勢の人があれました。

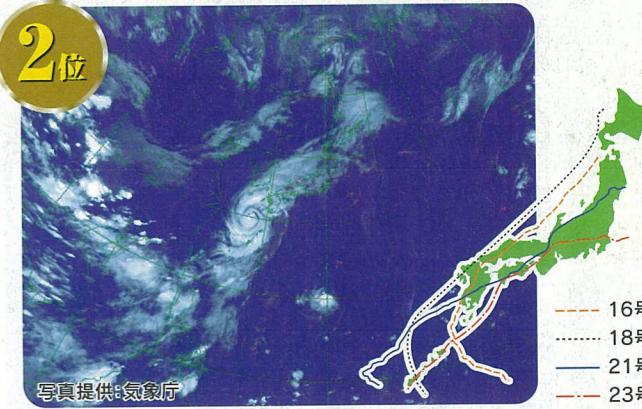
3位



高齢者ワンコインバス・ふれあいタクシー始まる【623票】

高齢者が気軽に街に出掛けられるよう、市内の路線バスに1回100円で乗車できるようになりました。また、交通の不便な地域の皆さんのために「ふれあいタクシー」も始まりました。

2位



大型台風相次いで県下を直撃【765票】

相次いで上陸した台風が県下を直撃。記録的な暴風雨による土砂崩れ、住居の浸水、道路の冠水、農作物被害など、市民生活に大きな影響が及ぼしました。

暮らしの情報市場

◆ 内容(県決定) 大分都市計画
総覽および公聴会の開催について

都市計画の変更(素案)について、利害関係者は2月1日(火)まで意見書を提出できます。

植田新都心中央地区画整理事業の事業計画の変更(第1回)をお見せします

総覽期間 1月5日(水)～18日(火)

総覽場所・問 課(内線1824)

開発指導課(内線1913)

開発行為について
原町の標識が付いた原動機付自転車や小型特殊自動車は、1月1日以降もそのまま使用することができます。

佐賀関・野津原地区における開発行為について
現在お使いの「佐賀関町」「野津原町」の標識が付いた原動機付自転車や小型特殊自動車は、1月1日以降もそのまま使用することができます。

税制課(内線1232)

お知らせ

佐賀関町・野津原町の標識が付いた原付などについて

が付いた原付などについて

お知らせ

道路の変更(1・3・1庄の原宮河内線東九州自動車道光吉インターチェンジ)の開通に伴い、都市計画区域外(旧佐賀関町・旧野津原町)における開発行為指導要綱が制定され、一定規模以上の開発行為については手続きが必要となります。

「天ぶら油火災」などの初期消火器のうち、輸入品4銘柄について適切に使用しても火を消すことができない商品のあることが、ありました。市消防局では、購入の際に日本消防検定協会の鑑定マークや住宅防火対策推進協議会の住宅防火安心マークの貼付されているエアゾール式簡易消火

型簡易消火用具(エアゾール型簡易消火用具)にご注意を

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 県庁K131会議室(共用)

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課、県都市

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課(内線1811)
内線4658)

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 同一

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課(内線1811)
内線4658)

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 同一

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課(内線1811)
内線4658)

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 同一

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課(内線1811)
内線4658)

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 同一

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課(内線1811)
内線4658)

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 同一

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課(内線1811)
内線4658)

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 同一

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課(内線1811)
内線4658)

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 同一

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課(内線1811)
内線4658)

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 同一

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課(内線1811)
内線4658)

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 同一

申込受付 1月7日(金)～21日(金)
会場 市都市計画課(内線1811)
内線4658)

◆ 内容 動報告ほか
◆ 場所 市民活動・消費生活センター
◆ 内容 記念講演「食の安全について」その後のBSE(活

みみんなの消費者大会(無料)
催し

市議会議員選挙が行われます

告示日 2月13日(日)

投票日 2月20日(日)

【立候補予定者の説明会(全選挙区共通)】

日 時 1月14日(金)
午後1時30分～午後5時

場 所 金池会館大会議室

【立候補届けの受付】

日 時 2月13日(日)
午前8時30分～午後5時

場 所 ■大分選挙区
市役所本庁舎8階大会議室
■佐賀関選挙区
佐賀関支所
■野津原選挙区
野津原支所

*投票の方法などは、市報2月1日号でお知らせします。

問 市選挙管理委員会事務局 ☎537-5652

問 市民図書館(内線33500)

問 内容 市内小・中学生が描いた読み書き感想画を展示

問 内容 目的ホール

問 内容 第11回大分市芸能まわり舞台

問 内容 「読書感想画コンクール」作品展

問 内容 生涯学習課(内線2048)

問 内容 入場券 200円

問 内容 入場料 1,000円(当日1,200円)

問 内容 第11回大分市芸能まわり舞台

問 内容 教室・講座・講習会

問 内容 コンバルホールの子ども英会話教室

問 内容 定員 15人(多數時は抽せん)

問 内容 ゲームや簡単な料理づくりなどを通した英語体験教室

問 内容 申込み・場所 月14日(金)必着までコンバルホール(〒870-0021府内700)へ。

問 内容 受講料 1,600円(材料費が別途500円程度必要)

問 内容 対象 小学4年生～6年生(1人1枚)に住所、氏名(ふりがな)、学年、電話番号を記入し、1月14日(金)必着までコンバルホール(〒870-0021府内700)へ。

問 内容 往復はがきが別途500円程度必要

問 内容 毎週水曜日午後3時30分～午後5時(全8回)

問 内容 申込み受付 1月26日～3月23日の午後3時30分～午後5時(全8回)

問 内容 会場 佐賀関公民館

問 内容 対象 所得税の還付申告をされる人

問 内容 申込み受付 2月24日(木)・25日(金)午前9時～午後4時

問 内容 会場 佐賀関公民館

問 内容 申込み受付 2月24日(木)～25日(金)午前9時～午後4時

大分市美術館 常設展 ~1月5日から展示が替わります~

展示室
2

近世の絵画・文人画

1月5日(水)~1月30日(日)

「暗香疎影図」新春特別公開



田能村竹田
「暗香疎影図」1831年
重要文化財



かのうづねのぶ
狩野常信
ごとうのうおうす
「梧桐鳳凰図」17世紀

展示室
1

近・現代の日本画

1月5日(水)~3月31日(木)

「空間の構築」



高山辰雄
「限りなき大分 7 空に映ゆる」
(版画)1981年

展示室
3

近・現代の洋画

1月5日(水)~3月31日(木)

「空間を描く」



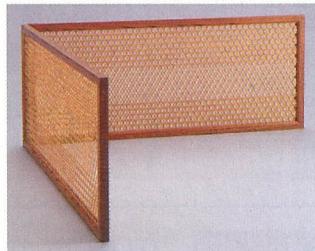
渡辺宏
ラージャ
「RAJAの訪問者」1971年

展示室
4

竹工芸

1月5日(水)~3月31日(木)

「受け継がれる祥雲斎の
心情 下田和泉」



下田和泉
ふらさきひょうふ
「風炉先屏風 重ね菱」1990年

◇観覧料

	常設展		特別展		◇開館時間／午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
	個人	団体	個人	団体	
一般	300円	250円	600円	500円	※中学生以下は無料、団体は20人以上。
高校生、大学生	200円	150円	400円	300円	※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人と、その介護者は無料です。入館時に受付で手帳を提示してください。

特別展観覧料で常設展も観覧できます。

特別展

「大分の美術—日本画
その源流を探って」
1月30日(日)まで開催中

お問い合わせ 大分市美術館 ☎ 554-5800

534-16111

印刷 極東印刷紙工株式会社
デザイン・編集・制作
有限会社アーデザインマツブ
株式会社アランニング大分



毎週
土曜日

午後5時30分～5時45分
OBS大分放送

「フレッシュおおいた」では、市内のいろんな話題やお役に立つ身近な情報を、毎週楽しくお届けしています。

Fresh Oita

表紙の言葉 新年明けましておめでとうございます。普段見慣れた風景もなんとなく厳かに感じられるお正月ですが、今年の元旦は新しい大分市の門出とも重なるため例年にも増して厳粛に感じられます。より魅力を増し、光り輝くまちとしてスタートする大分市。その前途に幸多かれと初日の出に願うばかりです。

番組案内

1月3日(月)
午前7時45分
～8時

新春
企画

釘宮大分市長
新春インタビュー

合併元年となる平成17年のスタートにあたり、釘宮磐大分市長が今年の抱負や大分市のまちづくりについて語ります。

〈大分ケーブルテレビの再放送〉
●1月3日(月)／午後1時45分～ ●1月4日(火)／午後3時30分～
●1月5日(水)／午後3時30分～ ●1月6日(木)／午後5時～

1月8日(土) 大分市美術館 特別展
「大分の美術—日本画 その源流を探って」

1月15日(土) おおいた元気っ子②

※都合により、番組内容は変更になることがあります。

再放送

大分ケーブルテレビ 毎週

日曜日／午後5時30分～ 月曜日／午後8時30分～

火曜日／午後3時30分～ 水曜日／午後3時30分～